

通ぜずして、毫も、精細に近き報導をも爲し、能はざる者の傳説を信ずるより此處に及びたるものあり、時としては、一般の談話に際し、何心なく、言ひ出でたることの、却て、熟考の餘に成りたるもの、如くに思ひ爲さるゝことあり、又、往々、此等種々なる原由の相合して成れるあり、而して、其の結果たるや、虚偽なる事實の陳述を基とし、彼等自らにも充分に理解し得ざる事情を妄信し、不當の方法の下に、他の性僻、行爲を論斷し去り、廣く、其を吹聴傳播し、結局、是れを、衆愚痴漢の自由に、誇張、傳播するに一任すに至るなり。」

も の 言 へ ば

く ち び る 寒 し

秋 の 風



● 九重の御消息

● 一兵卒の處罰を憫ませ玉ふ

先月十二日、朝

侍從 武官長岡澤中將より、近衛司令部副官を電

話にて召喚せられたるにより、何事ならんと深野

大尉は急ぎて参内したるに、本月二日、芝離宮へ

露國大公殿下御訪問のため、行幸ありたる砌り、

二重橋正門に歩哨したる兵卒の一人が、鹵簿に對

し奉り、畏憚の餘りに、敬禮の規矩を失し、處罰

せられ居ることを、今朝思し召し出させられ、憐

憫の大御心より、殊に宥免せよとの御沙汰ありた

る旨、侍從武官長より嚴かに傳達を受けたり、大尉は畏まりて司令部に還り、早速に宥免の手續に及びたる由なるが司令部にては大御心の一兵卒の身の上に及ぶことを語り傳へ、中には涙にひせぶ老士官もありたりといふ。

●淳宮初御參内 第二皇孫雍仁親王殿下には、

先月十三日午前九時三十分青山御産所御出門十時

賢所皇靈殿 神殿に御玉串を奉り、御拜ありて

御參内初めて 兩陛下に御對顔相成りたり 皇后

陛下には殿下御誕生後、青山御所に行啓御對顔あ

らせらるべき筈なりしも、當時御假床中なりしを

以て 天皇陛下と共に初めての御對顔なりければ

一層御満悦斜ならざりし由に承はる、斯くて十一

時五十分御歸殿あらせられたりといふ。

●學びの窓

●教員檢定試験日割

本年の師範學校、中學校高等女學校教員檢定試験豫備試験は、東京は文部省にて、地方は各府縣廳にて、日割左の如くなり

八月二十日	地理化學	同	受驗者合計	八百八十五人
同 廿一日	日本史、東洋史、農業	同		四百六十三人
同 廿二日	西洋史、物理	同		二百三十一人
同 廿三日	國語、漢文、物理	同		五百八十一人
同 廿五日	國語、漢文、植物	同		七百八十六人
同 廿六日	動物、生理、家事	同		二百九十六人
同 廿七日	教育、礦物、裁縫	同		五百二十七人
同 廿八日	修身、普通、體操	同		三百九十八人
同 廿九日	英語、兵式體操	同		三百六十八人
同 三十日	代數、用器畫	同		七百八十三人
九月一日	幾何、毛筆畫	同		七百六十一人
同 二日	算術、鉛筆畫	同		七百〇三人
同 十八日	習字	同		三百六十八人

●學生の所罰統計

文部省の調査に係る明治三十四年四月より三十五年三月に至る、全國中學校高等女學校生徒の一學年間に處分を受けたる者の數左の如しと

中		校	
懲戒したる者 六〇三七	退學を命じたる者 一、九〇九	懲戒したる者 一、二二二	退學を命じたる者 一、一六六
謹慎 一、二九一	性行不良 一、七九六	謹慎 一、二九一	性行不良 一、七九六
校學 二、二七五	學力劣等 二、二七五	校學 二、二七五	學力劣等 二、二七五
放逐 二、二七五	正當の事由なく 一、三〇九	放逐 二、二七五	正當の事由なく 一、三〇九
其他 一、四〇六	以上缺席 一、三〇九	其他 一、四〇六	以上缺席 一、三〇九
除名したる者 九八二	授業料不納 二五〇	除名したる者 九八二	授業料不納 二五〇
懲戒したる者 六	退學を命じたる者 六九	懲戒したる者 六	退學を命じたる者 六九
謹慎 一、二	性行不良 一、三	謹慎 一、二	性行不良 一、三
校學 三、三	學力劣等 三、三	校學 三、三	學力劣等 三、三
放逐 一、一	正當の事由なく 一、一	放逐 一、一	正當の事由なく 一、一
其他 五	以上缺席 五	其他 五	以上缺席 五
除名したる者 九四	授業料不納 二	除名したる者 九四	授業料不納 二

女子教育の大勢

本年四月に於ける、全國高等

女子學校入學志望者及入學者に關し、文部省にて調成したる統計に依れば、本科入學者志望者總數一萬三千八百三十一人にして、内入學を許されたるもの九千五百五人なり。而して更に之れを各學年別にすれば、一學年志望者七千五百十五人、内入

學者四千八百五十三人、二學年入學志望者三千四百七十七人、内入學者二千二百五十九人、三學年入學志望者二千四百三十四人、内入學者千六百八十一人、四學年入學志望者二百九十七人、内入學者二百四十六人。五學年入學志望者百〇八人、内入學者六十六人なりと。

日英女學生の通信交換

日英同盟成立以來、

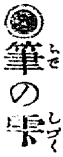
英國婦人にして日本婦人の眞情を知悉せんとするの念大に起りたる結果、同國皇立地理學院會員リチャード氏及在留本邦人中川浩平氏等發起人となり、英國皇后陛下の校長たる倫敦女子大學生、外數十名の書簡を裁して各般の事情を具し、遂に日本女學生の交際を求め來ることとなりし由にて、在神田の英學新報社は専ら之が媒介者として我女學界を警醒し、英國女學生と通信を交換し情誼を

ていつくすものを求むと云ふ。

●東京女學校

下谷東黒門町二二、なる同校は

本年六日中旬の開校にして、教科は本科、専攻科は受験科、裁縫教員養成科等より成り、本科は高等女學校と同一程度にして、専攻科は各學科を隨意に撰修せしむるもの、又受験科は女子高等師範、女子大學入學者の爲に學力を補習せしむるものなりと、總裁は鳥尾子爵にして、校長は元山形縣高等女學校長たりし折田重任氏なるが、教員は何れも、懇篤熱心に教授の勞に當り、殊に總裁鳥尾子爵は本月より、自身毎月一回宛、臨校して生徒一同に修身上の講話ある由、尙本月よりは更に寄宿舎を開設して、地方遊學者の便宜に供する筈なり



●鳥島の大噴火

先月十八日横濱に着せし兵庫

丸は最も悲惨なる珍事を傳へたり。鳥島の噴火之なり。此島は小笠原群島の一にして、八丈島を去ること、南方約百六十海裡、周圍約三里の一孤島にして、現今住民は百五六十名、皆信天翁捕獲と其糞の採集とに従事せり。其報告によれば、大噴火は先月八日九日頃に爆發せしが如く、可憐の勞働者は一切、生きながら焦熱地獄の苦を受けて地中に埋没せられしが如く、山頂よりは絶えず黒烟の噴出あり海岸崩壞、海水暗澹、其慘狀言語に盡し難く實に悲惨を極めたりとの事なり。此報導に接して同島地主玉置氏方には、至急探檢救濟の準備に着手せりしが、尙軍艦高千穂は、早急救助の爲め航行せりといふ。

●西郷從道侯の薨去

元帥西郷從道侯は胃瘡に

糶り、七月十八日黒の自邸にて薨去ありたり、  
 侯危篤の事宮中に聞ゆるや 陛下は特に位一級を  
 進めて従一位に叙せられ、二十二日には勅使とし  
 て侍従を同邸に差遣され、左の 勅語を傳へしめ  
 祭案金五千圓及幣帛神饌等を下賜せられたり。  
 風に尊王の大義を唱へて以て復古の宏議を發け文武の要職に歷  
 任して内外の機務を參畫し終に元帥の府に列す雅量重望久く國  
 家の柱石たり今や溘亡す曷ぞ痛悼に勝へん茲に侍臣を遣し賜贈  
 を齎して以て弔慰せしむ

同時に 皇后陛下より皇后亮を同邸に差遣はされ  
 祭資金千圓を賜び、葬送の節は棺前へ玉串を供せ  
 させられたりとそ 兩陛下か功臣を侍せらるゝ實  
 に厚しといふべし。

●東京たより

鵜 水 生

▲左なきだに 夏の東京は寂しきものなるに、ま

して、本夏の如き、土用中、晴天三日といふ、希  
 有の時候に際會致した候て、一層の寂漠を感じ候。  
 ▲たゞ先月十日、代議士の選舉の候て、聊か、寂  
 漠を破り候のみ。

▲先月十日頃 諸所に出水の災害有之候由、東京  
 市内にても、下町の所々は、同じ災難に出遭ひ候  
 て、折から降り續きたる霖雨に、其職を失ひ、生  
 活の途に究し候貧民は、一層の究境に迫られ候由  
 太略は新聞紙の報する處に依りて、御承知の事と  
 存じ候。

▲附近の海水浴場も、例年に比して、三分の一の  
 浴客を集むるに困難致し候ひし由、たゞし、こは  
 不景氣といふ譯にてははなく候。何故かと申すに  
 海水浴客などは、大方不景氣など申す事は、存ぜ  
 ぬ方々のみ故に候。たゞ如何にも、天道様の御考

へ違にて、土用中綿入羽織を着せざるべからざるが如き寒氣に恐れ候故に候。

▲たい本夏に於ける壯圖として、御報導申したきは、柳澤伯の避暑航海に候、續賣新聞社の學生富士登山會に候、其他學生の大陸旅行に出懸けたる人々の多かりし事に候、のつたり、すつたりして温泉場や、海水浴場などで、空々寂々として日を過ぐす學生、紳士の一考すべき所に候  
▲當年の夏期講習會は、何處とも不景氣に終り候由、一般世間の不景氣の爲でも候半が、一は、余り數多ありし故とも存候、早々。

### 地方通信

大阪通信

#### ●大阪市保育會講習會

大阪市保育會にては、

本年夏季、女子高等師範學校教授兼主事、中村五六君の歸省の途次、乞ひて五日間保育の講義を聽くこととなり、七月十四日より同市東區浪花幼稚園内に開會、當日は市保育會長、大村芳樹開會の辭に次ぎて中村講師の挨拶あり、引續きて五日間講習十八日午後四時一同着席修了式を擧げ、大村會長より講習員百三十六名に證明書を授與し、講師の演說會員總代の謝辭等ありて式を終れり、講習會百三十六名中、京都より四名、神戸市より三名來りて入會せしものあり講習中は一同熱心に聽講し、豫て抱懷せる疑問に對し講義の説明を得て頗る満足し、斯道には極めて有益なることにて、是にて會員の研究心を一層盛ならしめたり。

(大村芳樹報)

香川通信

香川通信員

香川縣には現今四ヶ所に幼稚園あり、高松、坂出、丸龜、多度津にして其中坂出と丸龜とは第三回保姆練習科の卒業生主任となりて保育せらる、五月頃高松にて開かれし二府十六縣の共進會には各幼稚園より出品せり、中には面白き考案もありし由、高等小學校にては高抵女兒にも袴を着せしめ、衣服は筒袖なり。高等女學校は縣立、私立、合せて四校あり、其他女子に専門的になさしむる染織學校あり、生徒の數も多き方なり。女子教育は近年に至りて長足の進歩をなせり、女子高等師範學校の卒業生も土地の狭き割合には多く、これ等の人々は皆師範學校又は高等女學校に奉職し、熱心に數多の子女を教育しつゝあり、目下在校生は五人あり、又同校は入學志望のものも多くあり

一般に女子にして教師とならんとの望を有するもの多し。

海外彙報

●幼稚園保育法

● 現今の幼稚園保育の方法の一

たる手技に於て、其余りに幼児の細微なる筋肉の練習にのみ偏せるは、吾人の既に早くより感じたる所なりしが、近刊の米國雜誌スクール、ジヨルナルに載する所に見るに、

マサツチエセツト洲チールセスターの各幼稚園に於ては、幼児期に於て余り早く手首及指端の修練より來たる痙攣及神經疲勞を避けしめ且つ大筋肉を發達せしめんが爲めに、黒板上に自由に大圓三角形其他の形を畫かしめつゝあり。且つ學校衛生上從來の如き小積木や、細微なる箸等を使用するは微細の筋肉を動かしめ、且つ神經機關を害する危険ありとの根據の下に殆んど幼児の拳大の積木を使用しつゝあり。尙且つ幼児の脊及足の筋肉を發達せしめんが爲に、梯子を床上に横たへて、幼児をして一歩一歩之を眞直に跨げしむる等の遊をも行へり。

吾人は又、我國多數の幼稚園に於ては、機の配置方を始め、室の使用の方法の如き、餘りに規律的にて、餘りに學校的にて、所謂遊戯性を利用しての教育場としては、頗るふさはしからぬものなるを感ずること久し。ヲールセスターの幼稚園に見ても、其他彼國雜誌等に散見せるものに付きて見ても、多く幼兒輩が床上に於て、或は兩足を投げ出し或はアグラを組みつゝ、極めて自由の姿勢態度を以て手技に従事しつゝあり。幼兒の身長などに適せざる机腰掛をイカメシク配置して、無理やりに究屈に長時間彼等を之に倚らしめてにあらざれば、保育の出來ざるものゝ如くに考ふる人は、宜しく一考ありたきものなり。

●英帝戴冠式 病氣の爲め、延期仰出されたる

英國皇帝の即位戴冠式は、愈先月九日正午、倫敦

市ウエストミニスター寺院に於て舉行せられたり

▲英皇帝の貧民饗應 英皇帝エドワード陛下が

戴冠式の祝ひとして去月五日倫敦の貧民五十萬人に晚餐を賜はりたることは、當時ロイテルの傳へたる所なるが、今英國新聞の報する所に據れば、其際晚餐の爲に費されたる食料は牛肉三十五万斤、羊肉十三万斤、犢肉七万斤、ハム五万斤、四斤の麵麩七万五千個、莖菜一万一千把、胡瓜四万三千本、トマト二万五千斤、馬鈴薯四十万斤、チーズ六万二千五百斤、ビール三万六千ガロン、ジンジャービーア十五万バインド等にして食卓及び腰掛を設くる爲に要したる板の長さは二百六十哩に及び當日貧民の腰掛けたる椅子を積み上ぐる時は、我富士山の百倍の高さに達すべしといふ。